

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

磐田市教育委員会

1 はじめに

平成29年4月に実施した「平成29年度全国学力・学習状況調査」の本市立学校の調査結果の概要をお知らせします。本市の調査結果及び課題等を公表することにより、児童生徒に関わる様々な立場の方々に関心をもっていただき、調査結果から見える成果や課題を共有しながら、学校・家庭・地域が連携し、一体となって磐田市の子どもたちを育てていきたいと考えております。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部を測定したものであり、この調査結果を本市の子どもたちの学力や学習状況を把握する資料の一つとして、一人一人に応じた教育指導や学習状況の改善のために役立てていきたいと考えております。

※結果分析と今後の対策については、10月中旬にお知らせする予定です。

2 結果

〈小学校〉全国学力・学習状況調査平均正答率と平均正答数

	〔国語A：主として知識〕		〔国語B：主として活用〕		〔算数A：主として知識〕		〔算数B：主として活用〕	
	平均正答率(%)	平均正答数(15問)	平均正答率(%)	平均正答数(9問)	平均正答率(%)	平均正答数(15問)	平均正答率(%)	平均正答数(11問)
全国(公立)	74.8	11.2	57.5	5.2	78.6	11.8	45.9	5.1
県(公立)	74.0	11.1	59.0	5.3	78.0	11.8	46.0	5.1
磐田市	76.0	11.4	61.0	5.5	80.0	12.1	48.0	5.3

〈中学校〉全国学力・学習状況調査平均正答率と平均正答数

	〔国語A：主として知識〕		〔国語B：主として活用〕		〔数学A：主として知識〕		〔数学B：主として活用〕	
	平均正答率(%)	平均正答数(32問)	平均正答率(%)	平均正答数(9問)	平均正答率(%)	平均正答数(36問)	平均正答率(%)	平均正答数(15問)
全国(公立)	77.4	24.8	72.2	6.5	64.6	23.3	48.1	7.2
県(公立)	78.0	25.1	74.0	6.7	67.0	24.2	50.0	7.5
磐田市	79.0	25.3	73.0	6.6	67.0	24.0	49.0	7.3

3 結果概要 ○成果等 ●課題等

【小学校国語】

- 漢字を正しく読む問題や目的や意図に応じ自分が伝えたいことについての的確に話したり、話を構成したりする問題の正答率が高かった。
- 物語を読み、条件に合わせて自分の考えをまとめる問題の正答率が低かった。叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる場を多く設定したい。

【小学校算数】

- 平均を求める式を判断する問題や最小公倍数を求める問題、乗法の性質を使って正しい積の求め方を選ぶ問題の正答率が高かった。
- 商を分数で表す問題の正答率が低かった。分数を使うことで小数や計算が分かりやすくなることを実感できるように指導方法を工夫していきたい。

【中学校国語】

- 文脈に即して漢字を正しく読むことができた。登場人物の言動の意味を考えたり、場面の展開や人物などの描写に注意して読んだりする問題の正答率が高かった。
- スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す問題の正答率が低かった。目的や相手を意識して書いたり話したりする場を意図的に設定していきたい。

【中学校数学】

- 日数の差を負の数で表す問題、グラフから必要な情報を読み取る問題、六角形を作っているストローの数を数学的に捉える問題の正答率が高かった。
- 2つの図形の関係を数学的な表現を用いて説明する問題の正答率が低かった。事象の特徴を的確に捉え、数学的に説明する活動を多く設定していきたい。